

第6回策定委員会議事録

【事務局】 本日は最終回の委員会となります。

委員長 本日の委員会には傍聴の方が1名いらしていますので、よろしく願いいたします。それでは、最終計画案について議論したいと思います。先日、副委員長と打合せをしまして、若干変更いたしました。お手元の資料2に変更内容を記しています。議題(1)について、事務局より説明をお願いいたします。

【事務局】 (資料2についての説明)

【委員長】 いただいたご意見をもとに、計画案の修正をいたしました。先日の打合せで医療費を追加し、目標数値の設定の表のなかに4項目を追加いたしました。受診率の数字については、前回の委員会でも多くの意見が出されまして、難しいかなと思いこのような形にしました。手帳の交付・活用のところでは、逆に%が出たほうがよいと思い、新しいものに変更しました。前回の委員会後に意見をいただいた委員の方が2名いらっしゃいましたので、ご説明をお願いします。

【委員】 31 ページ「生活習慣改善センター」と2か所でききますが、「支援」が抜けています。23 ページのイメージ図では、もう少しだけ感じにして、センターの内容についての説明を入れたらどうかと思いました。32 ページの(1)、ここの表の目標値は数字化できるのではないのでしょうか。生活習慣病の因子に関しては出したほうがいいのではと感じました。

【委員】 計画を実行するにあたり、地域社協が出ていません。地域で取り組みやすくするためにも組み入れた方が取り組みやすくなると思いました。「禁煙」については意識して取り組んでいった方がよいと思います。

【委員長】 シニア活力アップでは、転倒予防、介護予防、食育となっていると思います。最終的には保健センターが健康づくり全般を行なうことになることこそ、保健センターの設立主旨にもつながってくると思います。

【副委員長】 32 ページの数値を決める事は可能ですが、あえて決めてしまうことを避けました。逆に28 ページの文章、下から2行目ですが、ほとんど具体的な数字が出ておりませんので「目標数値」を「目標」とした方がよいと思います。

【委員長】 31 ページの「支援」を挿入、28 ページ「目標を設置しました。」に訂正をお願いします。他に何かございますか。

【委員】 23 ページのイメージ図で、センターの構想はとても良いと思います。ここで要治療となった人に対しても、→薬局で終らせないためにも点線の矢印でセンターやコミセンに結び付けてほしいと思います。

【委員長】 以前はつながっていたように思います。点線の矢印でセンターへつなげてください。

【委員】 29 ページ未成年者の喫煙経験率の目標のところですが、「減らす」ではなく「な

くす」でないといけないと思います。

【委員長】 確かにそうでないといけないですね。訂正をお願いします。

【委員】 19 ページ飲酒の地域の取り組みのところ、地区指導員とありますが、具体的な計画はあるのですか。

【事務局】 委員の方から出された意見をそのまま掲載しており、具体的なものはございません。

【委員】 名称が具体的すぎるので「地域の人」くらいにしておいた方が良いと思います。

【委員】 ここは私が書いたのですが、最近はコンビニの前に大勢中学生がいてこわくて声をかけられないのが現状です。市民が目配りができる街であってほしいと思うことと、未成年者が身体をつくる前にこのようなものの食べ方、飲み方をしてほしくないのも、その指導が必要になってくればと思います。

【委員長】 飲酒の中に入れてよいのかは若干疑問がありますが、ここは表現を変えてください。

【副委員長】 33 ページの資料では、女性の乳がんのみ武蔵野市のほうが高くなっていますが、これは 63 ページの表と違っていています。

【事務局】 33 ページの数字が間違っています。63 ページの数字が正しいので訂正します。

【委員長】 年度によって、だいたい統計が違うようです。63 ページとあわせて訂正をする様をお願いします。健診の受診率については、歯科医師会から要望はあったのですが、この数値は変更させていただきました。今まで出された訂正箇所をまとめますと、19 ページの飲酒のところ、23 ページのイメージ図のところ、28 ページの「目標数値」を「目標」に訂正、29 ページの「未成年喫煙経験率」のところ「減らす」を「なくす」に訂正、31 ページに「支援」の挿入、33 ページの表の訂正、となります。

【委員】 委員が書かれたイメージ図がみたいので、全委員にコピーをお願いします。

【委員】 長期計画にも「市民が自覚を持って……」と文章がありますので、それを具体的に図にした方がよいのかなと思って作ってみました。

【委員長】 来年度以降に健康づくり総合支援センターを作って、より具体化していくでしょうから、中身についてはそこで考えていきたいと思っています。

【委員】 それが 31 ページの「体制づくりに入っていく」ということでしょうか。

【委員長】 単にセンターを立ち上げる、手帳を交付するだけに留まらずに、情報、教育、訓練など専門的指導を取り上げられればよいのではないかと思います。

【委員】 前回出ていた専門分科会となるわけですか。

【委員長】 まだそこまで具体的には決まっています。

【委員】 30 ページ、(2)の表ですが、歯科のみ平成 15 年なのはなぜですか。

【事務局】 歯科健診は、平成 15 年の実績が出ているので新しいデータとして出しました。

【委員】 歯科は 5 年間で受診率を 30%アップという目標を掲げましたが、受診率のみの

向上だったので、他のものよりは実現しやすいと思って出しました。S61 から老成人歯科健診を実施しておりますが、右肩上がりできており、平成 14 年に 4%、平成 15 年に 5% アップとなってきています。市の財政事情もあるでしょうが「できるだけ」増やしたい気持ちです。今年度のデータが出来上がり、糖尿病のある人とない人で歯周病の差が激しいことがわかりました。40 歳で糖尿病のない人は 35%、ある人は 60% になりました。

【委員長】 歯科健診で歯周病の罹患率は出ていますか。

【委員】 出ています。

【委員長】 32 ページ(3) 1 の表に歯科がありませんので、入れたらいかがですか。「歯周病の罹患率」を「減らす」としたらどうですか。

【委員】 歯周病の罹患率のところに「糖尿病のある人」が高いという一行を加えると、意識向上には良いと思います。噛む、食べるは基本的なことです。テレビで、歯を治すとまっすぐ歩ける、外に出歩くようになったと言っていました。せっかく新しいデータが出たので活用した方がいいと思います。

【委員長】 情報提供も重要なテーマです。

【委員】 歯科健診受診率はやっと 50% です。歯の健診は身体全体につながるとわかっていのに、予算がないのはおかしいと思います。

【事務局】 市が無料健診で行なっているもの全ての見直しを含めた検討課題です。決して「歯」だけの問題ではございません。4 月から健康づくり総合支援センターが始まり、5 名の専従職員が配置されます。

【委員長】 総合ということですので、色々なことが含まれるのでしょうか。

【事務局】 3 月 29 日(月曜日)午後 2 時から正副委員長が市長に最終報告をいたします。概要は市長のメルマガにも掲載予定です。また、市報 4 月 15 日特集号で健康推進計画の概要を掲載する予定です。32 ページの表については載せたいと思います。それでは福祉保健部長よりご挨拶を申し上げます。

【福祉保健部長】 昨年 7 月から長期間にわたりご審議いただき、ありがとうございました。皆様から健康のしくみづくりの提言をいただきました。4 月からは健康づくり総合支援センターができます。予算も配置されていますので、有意義にすすめていきたいと思っております。今後ともどうぞよろしく申し上げます。

【委員長】 皆様の絶大なご協力をいただきまして、答申が出来上がりました。これでとりまとめて市長に報告させていただきます。これが取り掛かりとなりますので、これからも皆様のご理解、ご協力をお願いしたいと思います。長い間ありがとうございました。

【副委員長】 医師会の代表として参加させていただきました。失礼な事もあったと思いますが、武蔵野市民の健康のためとお許しください。ありがとうございました。

最終報告書は、3 月 29 日(月曜日)に、市長公室において、苫米地委員長、渡部副委員長より、土屋市長に報告されました。

